



# 篠小だより

令和4年8月29日

9月号

〒222-0022 横浜市港北区篠原東三丁目27番1号 Tel.045-401-9532 fax045-431-9538  
横浜市立篠原小学校 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinohara/>

## 体験を紡いで学ぶ

副校長 三上 顕

夏休みが明け、学校に元気な子どもたちの声が戻ってきました。一回り大きくなった様子を見て、「どんな夏休みを過ごしてきたのかな？」と想像が広がります。きっと充実した夏休みを過ごしてきたことでしょう。みなさんにとってどのような時間でしたか？

私は夏休み、息子の自由研究の関係で神奈川県内の磯に出かけました。私自身にとっては、はじめは興味のないことでしたが、ザリガニ釣りから始まった息子の生き物への興味と自由研究を何とかしたい親としての気持ちで出かけていきました。

初めて行った磯は、横須賀市の佐島の自然観察園の磯です。横須賀は軍港のイメージが強かったのですが、思ったよりも水が澄んでいて、美しい磯が広がっていました。だんだん興味がわいてきて、潮だまりを観察してみます。すると、生き物の姿が・・・見えない。しかし黙ってよく水の中を観察していると、小さなエビや小魚が見えるようになってきます。いつも気ぜわしい毎日を送っていたから、「じっくり立ち止まって観察するって大事だな」と改めて思った瞬間でした。第1回目の磯観察は、たまたまとれた小エビと、潮だまりにはまって海に戻れなくなったクサフグの子、網でとらえることはできませんでしたがたくさんのハゼを見て終わりました。

2回目の磯観察。ハゼをつかまえない！一週間後同じ佐島に出かけますが、今度は見事に失敗に終わります。失敗の原因は…たまたま到着したときはちょうど佐島が満潮の時間。潮が高くなって、そもそも前回見た磯がなくなっているんです。「そんなことも知らずに磯に来てしまったのか…」ちょっと恥ずかしい思いも感じながら、せっかく来たので海を見てみると前回とは全く違う荒々しい海の姿がありました。

3回目の磯観察。2回目の失敗を教訓に、今度は潮位を事前に調べて出かけます。はじめは興味もなかった磯がだんだんおもしろくなってきて、youtubeの磯の観察の仕方のクリップを見ながら興味が広がる親子の姿がありました。そのクリップで紹介されていた方法が、磯のガサガサ。潮だまりの海藻のあたりを網でガサガサすると何か生き物が引っかかるという話です。期待に胸を躍らせて今度は三浦の城ヶ島の海に。海藻が生えている潮だまりを探して歩いていると、ようやく見つかります。おめあてのハゼを取って観察しようと海藻付近をガサガサしますが、捕まるのはエビだけ。「動画で見ただけじゃうまくいかないな…」途方に暮れていると、地域の子どもが教えてくれます。「潮だまりを網でハの字描くみたいに動かしたり、底をこすりながら動かしたりすると生き物が引っかかることがあるよ」と。「何回もやるといいよ」とも。さっそく一緒についてきていた娘が挑戦してみると、10回ぐらい試している間にハゼがとれました！歓喜の瞬間！小さな達成感を味わいました。

この夏の複数回にわたる磯体験でしたが、様々なことを学びました。試してやっている間に興味はわいてくること。事前に調べた方が物事は興味がわいて楽しくなること。How-Toの情報は参考にしながらうのみにしてはいけないこと。そしてなにより、Try & Error を繰り返すことの大切さとおもしろさ。…実体験に勝るものはないな。そういうことを強く学んだ夏休みでした。

学校生活も第2ステージに突入します。この期間は、校外学習や体験学習、修学旅行など、通常の学校生活では味わえない体験ができます。総合的な学習の時間も本格化してきます。実体験し、感じたことから学びを深めるチャンスがたくさんあります。子どもたちが実体験から学びを進めている姿を楽しみに、また、一緒に楽しんでいきたいと思えます。